



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東急レクリエーション

コード番号 9631

URL <http://www.tokyu-rec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 仁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 大島 昌之 TEL 03(3462)8870

四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 平成22年9月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	15,316	8.6	173	15.9	137	0.3	254	293.7
21年12月期第2四半期	14,106	—	149	—	137	—	64	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	8.67	—
21年12月期第2四半期	2.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	42,206	22,620	53.6	769.77
21年12月期	42,644	22,518	52.8	766.12

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 22,620百万円 21年12月期 22,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年12月期	—	3.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,083	2.8	642	7.5	566	0.3	223	52.6	7.62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	31,937,474株	21年12月期	31,937,474株
22年12月期 2 Q	2,552,086株	21年12月期	2,545,282株
22年12月期 2 Q	29,387,770株	21年12月期 2 Q	29,409,296株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や海外経済の改善により、個人消費は持ち直し景気は緩やかながらも回復傾向にあるものの、依然として失業率が高水準にあるなど長引く雇用不安・所得環境の先行きに対する懸念を払拭するには至らず、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、映像事業、スポーツ・レジャー事業、不動産賃貸事業の3事業において、引き続き、経営全般にわたり徹底したコスト削減に努めるとともに、積極的な営業活動を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、売上高は15,316百万円(前年同期比8.6%増)となり、営業利益は173百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益は137百万円(前年同期比0.3%増)、四半期純利益は254百万円(前年同期比293.7%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像事業

当第2四半期連結累計期間における映画興行界は、期を通じて3D作品が幅広い世代の支持を集め、業界全体としては総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社の映画興行事業におきましては、6月に「IMAX®デジタルシアター」が開業一周年を迎えるなかで、記念キャンペーンや各種タイアップイベントを行ってまいりました。

作品としては、「アバター」「アリス・イン・ワンダーランド」「カールじいさんの空飛ぶ家」「のだめカンタービレ最終楽章 後編」「告白」などを上映いたしました。また、「IMAX®デジタルシアター」においても、「アバター(IMAX®3D版)」「アリス・イン・ワンダーランド(IMAX®3D版)」の両作品を上映し、好評を博しました。

当事業においては、引き続き徹底したコスト削減等に努めてきたものの、収益の確保には至らず、結果として、売上高は7,734百万円(前年同期比22.3%増)、営業損失は29百万円(前年同期は84百万円の営業損失)となりました。

② スポーツ・レジャー事業

ボウリング事業、フットサル事業の両事業におきましては、快適に競技を行える施設の運営に努め、多彩なニーズに対応した各種大会を行い、各地域の特性に合わせたサービスの提供に努めてまいりました。また、スクールの充実や会員交流を目的にしたイベント等も充実させ、顧客満足度の一層の向上をはかってまいりました。

しかしながら、ボウリング事業における顧客の減少等、当事業を取り巻く経営環境は依然として厳しく、結果として売上高は971百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は56百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、東京都内におけるオフィス賃貸市場の空室率は依然として上昇を続け、賃料水準も下落傾向にあります。当事業の中心である商業ビルにおいては、テナントの賃料見直しや新規テナントの誘致競争の激化など大変厳しい事業環境となりました。

このような状況のなか、オーナーならびにテナントに対し、きめ細やかな対応を重ねるとともに、十分な信頼関係を築きながら付加価値の高い魅力的なビルとしての維持運営を行ってまいりました。

ホテル事業につきましても、景気低迷による法人需要の減少や低価格競争の激化など大変厳しい経営環境のもと、引き続き、徹底したコスト削減に努めるとともに、インターネットを活用した宣伝活動や顧客満足度の高い宿泊パック等を提供するなど、幅広く顧客の獲得を行い、客室の稼働率向上に努めてまいりました。

この結果、当事業の売上高は4,418百万円(前年同期比0.7%減)となり、営業利益は600百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

④ コンビニエンス事業

コンビニエンス事業におきましては、天候不順が続くとともに平均客単価が下げ止まらず、厳しい経営環境で推移いたしました。このような状況のなか、都心を中心に展開するファミリーマート14店舗においては、効率的な運営を行い、徹底したコスト削減を行ってまいりました。

この結果、当事業の売上高は1,472百万円(前年同期比2.6%減)となり、営業利益は29百万円(前年同期は1百万円の営業利益)となりました。

⑤ ビル管理事業

ビル管理事業におきましては、オフィスビルを中心にビルメンテナンス・安全管理における高いニーズに応えるとともに、クオリティーの高い技術とサービスの提供に努めてまいりました。

この結果、当事業の売上高は317百万円(前年同期比24.3%増)となりましたものの、営業利益は58百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

⑥ その他事業

飲食事業におきましては、消費者の生活防衛意識は依然として高く、低価格志向や中食・外食産業間の競争激化などによる厳しい経営環境のもと、「食彩健美 野の葡萄」「モスバーガー」の各店舗において効率的な店舗運営を推進するとともに顧客獲得に努めてまいりました。また、㈱ティーアール・サービスでは、ゲームセンター「G-R E C' S」を都心に3店舗展開しており、快適な店舗の運営に努めてまいりました。

しかしながら、顧客の減少に歯止めはかからず、当事業の売上高は402百万円(前年同期比17.7%減)となり、営業損失は14百万円(前年同期は16百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ437百万円減少し、42,206百万円となりました。これは主に長期貸付金が378百万円増加し、現金及び預金が306百万円、建物及び構築物が394百万円、投資有価証券が130百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ539百万円減少し、19,586百万円となりました。これは主にその他(預り金)が661百万円増加し、短期借入金が700百万円、未払法人税等が117百万円、長期借入金が201百万円、その他(長期未払金)が174百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、22,620百万円となりました。これは主に利益剰余金が166百万円増加し、その他有価証券評価差額金が61百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ306百万円減少し713百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益326百万円、減価償却費724百万円、預り金の増加、また、預り保証金の減少、長期未払金の減少ならびに法人税等の支払等により1,290百万円の収入(前年同期比26百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等があったものの、固定資産の取得による支出ならびに貸付けによる支出等により492百万円の支出(前年同期比123百万円支出減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金および長期借入金の返済による支出、ファイナンス・リース債務の返済による支出ならびに配当金の支払等により1,104百万円の支出(前年同期比576百万円支出増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便的な会計処理

重要な該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	723,500	1,030,046
売掛金	752,156	887,307
商品	126,303	138,054
貯蔵品	40,694	52,244
繰延税金資産	90,527	113,501
その他	1,610,729	1,586,563
貸倒引当金	△3,731	△4,010
流動資産合計	3,340,181	3,803,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,980,515	12,374,642
土地	9,617,775	9,617,775
その他(純額)	1,452,426	1,450,983
有形固定資産合計	23,050,717	23,443,401
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,297,587	2,427,918
差入保証金	9,929,075	9,906,606
繰延税金資産	877,886	824,603
その他	1,700,837	1,231,536
貸倒引当金	△9,806	△9,703
投資その他の資産合計	14,795,581	14,380,960
固定資産合計	38,866,381	38,840,504
資産合計	42,206,563	42,644,212

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,072,169	1,829,494
短期借入金	1,900,000	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	403,364	443,329
未払法人税等	81,621	199,175
引当金	30,342	45,019
その他	2,630,400	2,047,407
流動負債合計	7,117,898	7,164,425
固定負債		
長期借入金	276,016	477,707
退職給付引当金	299,793	325,977
受入保証金	7,420,817	7,516,896
再評価に係る繰延税金負債	3,249,946	3,249,946
その他	1,222,023	1,391,217
固定負債合計	12,468,596	12,961,745
負債合計	19,586,494	20,126,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,028,813	7,028,813
資本剰余金	7,061,184	7,061,184
利益剰余金	5,735,958	5,569,290
自己株式	△1,370,578	△1,366,970
株主資本合計	18,455,377	18,292,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△319,045	△258,013
土地再評価差額金	4,483,735	4,483,735
評価・換算差額等合計	4,164,690	4,225,722
純資産合計	22,620,068	22,518,040
負債純資産合計	42,206,563	42,644,212

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	14,106,067	15,316,490
売上原価	13,449,886	14,631,149
売上総利益	656,180	685,341
販売費及び一般管理費	506,281	511,602
営業利益	149,899	173,738
営業外収益		
受取利息	4,726	9,120
受取配当金	17,466	22,093
その他	6,098	4,991
営業外収益合計	28,291	36,205
営業外費用		
支払利息	20,848	46,767
持分法による投資損失	16,664	20,617
その他	3,282	4,688
営業外費用合計	40,795	72,073
経常利益	137,395	137,870
特別利益		
投資有価証券売却益	—	199,860
特別利益合計	—	199,860
特別損失		
固定資産除却損	17,327	11,192
投資有価証券評価損	6,254	—
貸倒引当金繰入額	29,949	—
特別損失合計	53,531	11,192
税金等調整前四半期純利益	83,864	326,538
法人税等	19,123	71,670
四半期純利益	64,740	254,868

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	83,864	326,538
減価償却費	686,894	724,089
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,056	△175
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,312	△14,676
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,230	△26,184
固定資産除却損	17,327	11,192
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△199,860
投資有価証券評価損益(△は益)	6,254	—
持分法による投資損益(△は益)	16,664	20,617
受取利息及び受取配当金	△22,192	△31,213
支払利息	20,848	46,767
売上債権の増減額(△は増加)	△29,571	200,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,553	23,300
仕入債務の増減額(△は減少)	415,592	195,874
前払費用の増減額(△は増加)	16,746	△78,937
前受金の増減額(△は減少)	5,724	△853
預り金の増減額(△は減少)	48,783	661,534
差入保証金の増減額(△は増加)	80,482	△22,469
預り保証金の増減額(△は減少)	△22,854	△96,079
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,784	14,554
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△174,200
その他	37,262	△117,534
小計	1,323,996	1,462,582
利息及び配当金の受取額	19,234	27,984
利息の支払額	△21,868	△47,373
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,899	△152,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,317,463	1,290,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△662,372	△284,540
投資有価証券の売却による収入	—	229,860
貸付けによる支出	△5,000	△456,724
貸付金の回収による収入	51,390	26,059
その他	—	△7,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615,982	△492,724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△700,000
長期借入金の返済による支出	△240,000	△241,655
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△71,334
自己株式の取得による支出	△2,177	△5,330
自己株式の処分による収入	2,108	1,697
配当金の支払額	△87,969	△87,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△528,038	△1,104,591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	173,442	△306,545
現金及び現金同等物の期首残高	884,333	1,020,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,057,775	713,500

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	映像事業 (千円)	スポーツ・ レジャー 事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	コンビニエ ンス事業 (千円)	ビル管理 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,322,364	1,078,116	4,450,002	1,511,363	255,421	488,798	14,106,067	—	14,106,067
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	30,600	—	490,581	2,575	523,757	(523,757)	—
計	6,322,364	1,078,116	4,480,602	1,511,363	746,003	491,373	14,629,824	(523,757)	14,106,067
営業利益又は 営業損失(△)	△84,930	71,361	599,116	1,874	78,321	△16,751	648,992	(499,093)	149,899

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	映像事業 (千円)	スポーツ・ レジャー 事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	コンビニエ ンス事業 (千円)	ビル管理 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,734,264	971,398	4,418,335	1,472,677	317,505	402,309	15,316,490	—	15,316,490
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	29,199	—	474,955	2,318	506,473	(506,473)	—
計	7,734,264	971,398	4,447,534	1,472,677	792,461	404,628	15,822,963	(506,473)	15,316,490
営業利益又は 営業損失(△)	△29,314	56,897	600,979	29,255	58,306	△14,857	701,267	(527,528)	173,738

(注) 1 事業区分は、売上集計区分および事業種類の類似性等によっております。

2 各事業の主要な役務

- (1) 映像事業……………映画館の経営、イベントの企画制作他
- (2) スポーツ・レジャー事業……ボウリング場およびフットサル場等のスポーツ・レジャー施設の経営
- (3) 不動産賃貸事業……………ビル・住宅等の賃貸業、ホテルの経営
- (4) コンビニエンス事業……………コンビニエンスストアの経営
- (5) ビル管理事業……………ビル管理業務
- (6) その他事業……………飲食店およびゲームセンター等の経営他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

当社の連結子会社は、全て日本国内に所在しており、また、重要な在外支店がないので該当いたしません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。